

1. 研究室概要

大学名	電気通信大学		研究者	角田 博保
			職位	准教授
研究領域	ヒューマンインタフェース		窓口担当	産学官連携センター
研究キーワード	ヒューマンインタフェース、入力装置、携帯用キーボード、ハンドヘルム、SHoes			
住所	〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1			
電話	042-443-5780	E-mail	onestop@sangaku.uec.ac.jp	
FAX	042-443-5108	URL	http://itm.cs.uec.ac.jp	

2. 技術PR事項

『もっと使いやすい、ユーザインタフェースを作っています』

コンピュータの入力手法として、キーボードとマウスの使用より使いやすい、
文字入力手法と教育支援用eラーニングシステムを開発しています

1. 概要

- 片手かな文字入力手法を開発

片手の各指を利用した入力方法であり、1分間にかな文字180字入力が可能なため、両手打ちに遜色なく、他方の手でマウスの操作ができます。
発展形としてのハンドヘルムは円盤に配置されたボタンと圧力センサやジャイロ、加速度センサを装備することでWiiリモコンのような操作も可能です。



写真右：携帯機器用入力インタフェース(ハンドヘルム)



写真左：eラーニングシステム(SHoes)

- 教育支援システムを開発

講師と学生のパソコン間のネットワークにより、講義資料を学生のパソコンに表示します。メモの追記ができ、双方向のやり取りで質問や賛成ボタン機能、テストの自動集計も可能です。また、学生は理解度に合わせて自分のペースで学習することができます。

- ※ 研究室の成果を製品化し、モバイルで全く新しい入力環境の提供ができます。
- ※ 使い易さの客観的評価方法を確立し、実際の入力テストをせずに入力時間を算出することを考えています。

2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなど)と相談に対応できる技術分野

- ◆ コンピュータハードウェア製品関連の企業との共同研究や製品化への取り組みを希望します。

3. 特記事項

- 代表論文：菅原典子，織田恵太，赤池英夫，角田博保：集合教育に用いる即応型 eラーニングシステム SHoes における組織学習支援，情報処理学会論文誌，Vol.48，No.8，p.2791-2801 (2007.8)。